



## 人と自然が輝くまちづくりに向けて 町民と協働による布陣

若さは口から  
まちづくり町民懇談会  
成人式



# 若さは口から！

## 口腔（口・舌・歯など）

## 機能向上教室を開催しました

口腔内の健康は、全身の健康を保ち、介護予防に大切な役割を果たします。食べる楽しみ、会話する楽しみを持ち、健やかな生活を送るために、口腔機能向上教室を行っています。

### 口腔機能とは

- ▶ 食物を食べる、かむ、飲み込む（嚥下）
- ▶ 話をする
- ▶ 顔つき（表情など）を整える

### 対象者は

65歳以上の要介護認定を受けていない方で、口腔機能が低下している方。

口腔機能が低下している方とは（生活機能評価・基本チェックリスト）

- ①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか …… 【はい：いいえ】
- ②お茶や汁物などでむせることがありますか …………… 【はい：いいえ】
- ③口の渇きが気になりますか …………… 【はい：いいえ】

【 】内の「はい」が2つ以上あった場合、口腔機能低下の危険信号です。

### 回数は

月2回（2週間ごと）行い、3カ月で計6回行います。時間は2時間程度。

1回目：平成20年8月～10月に開催      2回目：平成21年1月～3月まで実施中

3回目：平成21年4月以降開催します

### 場所は

柴田町地域福祉センターです。自宅から送迎します。

### 費用は

原則無料です。（飲食などが伴う場合は実費負担となります）

### 内容は

- 毎回やること
  - ▶ 健康チェック（体調・血圧）
  - ▶ 個別相談、口腔内チェック      ▶ ストレッチ体操
  - ▶ 口腔機能アップ体操（ごっくん体操、唾液腺マッサージ、舌の体操、パタカラ発声練習、  
□輪筋鍛え「老け顔」防止体操など）
- 各回の内容      テーマごとのお話「お口のお手入れの大切さを知ろう」「よくかんで、おいしく食べよう」  
「お口を清潔にし、誤嚥性肺炎を予防しよう」「飲み込む力を高めよう」など
  - ▶ 歯磨き実習（染めだし、歯磨き）      ▶ 口腔内アイスマッサージ
  - ▶ 顕微鏡で自分の口腔内細菌を見る
  - ▶ 玄米ダンベル体操、ノルディックウォーキング体験



参加者の声

口腔ケア（口の中を清潔に保ち、かんんだり、飲み込んだりする力を保つ）の大切なことは、新聞などを見て少しは知っていました。しかし、具体的にどうすれば口腔機能が向上するかよくわかりませんでした。今回の「口腔機能向上教室」で私なりに身に付けることができました。それは、誰もがいつでもできる簡易な「口腔機能アップ体操」です。回を重ねるにつれ、少しずつ向上してきました。今後とも、この体操を日常生活の中に取り入れ、習慣になるよう努めてまいりたいと思っております。



久木田 光さん



福地 成郎さん

「元気で長生き」は、皆等しく願うことだろうが、そのためのポイントは何か。それを気付かせてくれたのが、先般参加した「口腔機能向上教室」だった。

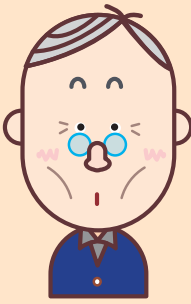
適量の食事をおいしく食べる。これが元気のもとだと何となくわかってはいたが当の「口の働き（口腔機能）」がどうなっているのか、どうすれば保持できるのかは心もとなかった。それを、実習を含めて具体的に説明してもらった。素敵な後期高齢者を目指したい。



小泉とし子さん

夫が病院で静かに旅立ちました。介護と見送りの後の私は83歳。体調を崩し、なぜか、たびたび口が渴いて舌が動かない、焦っても声が出ない、非常にうろたえました。町のお知らせ版に「口腔機能向上教室」の記事を見て、食い入るように読み電話をしました。保健師さんが訪ねてくださり、教室生になりました。あんなにうろたえた「なぜ」が実技のたびによく分かりました。おかげで今では、教わった要領のままに口腔機能アップ体操やアイスマッサージを行っています。朝の目覚めの時から気分が楽に、体も楽に過ごせています。

簡単「口腔体操」



●口を閉じたままほおをふくらませたり、すぼめたりしましょう。



●口を大きく開けて、舌を出したりひっこめたりしましょう。

# 町の

# 明日を考える

滝口町長が各地区で住民の皆さんと直接対話をする「まちづくり町民懇談会」が行われ164人が参加しました。町長がこれから町をどのようにしていくのか説明し、今後どうあるべきかを皆さんと一緒に考えました。

今回、各会場で寄せられた111の質問の中から一部の質問と回答をお知らせします。

## 3町合併関係

**Q** 3町の1人あたりの借金は合併すればどのようになるのか。

**A** 3年前に3町合併が破綻した後、柴田町は財政再建プランを作り、町民の皆さんに協力をいただきながら借金を減らしてきました。よくわかる町の仕事と予算の88ページに、住民一人あたりの借金と貯金が書いてあります。柴田町の借金は37万5,000円、貯金は1万8,000円。大河原町は、借金は23万6,000円、貯金は3万7,000円。村田町は、借金は68万6,000円、貯金は3万4,000円。これらの借金は、合併しても払っていかねければなりません。

**Q** 町として住民投票まで、どのように住民説明をしていくのか。

**A** 広報紙や合併協議会だよりのほかに、地区からの要望で「出前講座」に伺って話をしていきます。これが続けるとともに、生活に密着した合併協



定項目がある程度決定したら、町単独で住民説明会を行う予定です。また、前回の合併協議会でも、住民説明会を開いています。協議会は合併推進の場ではありません。合併の是非については判断材料を提供する場であり、進」という考えになびいているようですが、本来は合併の是非について同じ分量で議論をして、同じ分量の材料を町民に提供する場であり、最終的に住民投票で判断することになるわけですが、今回は行政主導、今回は住民投票です。前回の住民投票の投票率46%を上回るものだろうと思っています。住民発議なので関心は高いはずですが署名した9,400人の思いを込めているはずなので、当然投票率は上がると思っています。

**Q** 町長はどのような考えで協議会に望んでいるのかを明確にするべきではないか。

**A** 9つの自治体が合併した後の姿が検証できるようになってきました。全国町村会で合併した自治体を調査したところ、住民サービス、財政が良くなっていないことがわかりました。これからの高齢化社会を考えると、役所を大きくするのは官僚的な組織になりがちです。それより4万人の町だと町長と身近に話もできます。これから人口が減る社会は、住民と行政が離れてはいけません。いま、行政は大きくすべきではない時代になりました。まちづくりの考えが変わったのです。これから発展するまちとは人と人との絆を結びつけて、地域の中で安心して暮らせる町だと思

実施月日	対象地区
	会場
10月21日(火)	東船岡小学校地区
	船岡生涯学習センター
10月23日(木)	柴田小学校地区
	農村環境改善センター
10月27日(月)	企業・商工業・農業団体
	役場保健センター
10月29日(水)	船岡小学校地区
	役場保健センター
10月31日(金)	各種活動団体
	役場保健センター
11月5日(水)	西船迫小学校地区
	船迫生涯学習センター
11月7日(金)	槻木小学校地区
	槻木生涯学習センター
11月11日(火)	西住小学校地区
	西住公民館



**Q** 合併したら議員は何人削減されるのか。また報酬はいくら削減されるのか。

**A** 現在の町議会議員の数は、柴田町18人、大河原町15人、村田町14人。全部で47人ですが、合併すると定数は30人になると思います。試算すると約1億5,000万円減位になると思われます。しかし、職員給与を一番高い大河原町に合わせると、その1億5,000万円は無くなってしまいます。

います。合併協議会だよりに町長の考え方として「合併すれば地域が発展する、合併すれば財政基盤が確立するといったことは幻想でしかなかったことが明らかである」とはっきりと書きました。ある程度都市機能が充実している4万人の都市は、コンパクトな都市になれます。無いのは文化的施設の図書館なのです。ですから最低限の都市機能を充実し、文化施設がもてればコンパクトな町ができるのではないかと思っています。将来、道州制という話になると思いますが、その時も基礎自治体の在り方を提案させていただきたいと思えます。

**Q** 福島県矢祭町のように「ずっと合併しない」と言い続けるのか。いずれもっと広い地域での合併を考えているのか。

**A** 現在、地方自治制度が大きく変わり、国の仕組みを変えようとしており、その一つとして道州制度というのが検討されています。その時の基礎自治体は10万人から30万人と言われていると思います。国が道州制を導入すると言うのであれば、強制的に30万人規模の自治体に合併をさせられます。10万人から30万人の自治体になれば住民と役所が離れてしまい、あまりいいことが無いのではと思うので、今の自治体を残しながら市町村連合を組めないかと思っています。「小さな自治体で何ができるか」という人がいますが、大きくしたからいいわけではありません。3町合併で「意識を変えよう」「新しいマネジメントをしよう」「新しいまちづくりをしよう」そういう気運になったら成功すると思うのですが、まだまだ無いように感じます。柴田町はこのまま自立してやっていけるという自信があるので当面自立戦略を進めていくつもりです。

**Q** つくる会の皆さんが毎週議論をして作り上げた住民自治基本条例が、合併によってどうなるのか。またやり直しになるのか。

**A** 基本条例は、つくる会の皆さんが平成18年度から延べ240回の議論を重ねて一生懸命作ってきました。住民自治基本条例というのは、自分たちで力を合わせて町をつくるための最低限のルールを作ろうということなんです。各先生方は「合併で一緒になった場合、仕事のやり方の違いが出てきますので、合併する時こそ、住民自治基本条例を合わせて作っておけば、共通のまちづくりができる。そういうふうには考えないといけない」と言っています。議会の理解を得て、柴田町がリーダー役を果たす意味でも制定をさせていただきたい。もし合併することになれば、この条例を基盤として3町が将来の町をどうしていくか、協働のまちづくりをどうしていくか議論していかねければと思っています。

## 住民自治による まちづくり基本条例

**Q** つくる会の皆さんが毎週議論をして作り上げた住民自治基本条例が、合併によってどうなるのか。またやり直しになるのか。

**A** 基本条例は、つくる会の皆さんが平成18年度から延べ240回の議論を重ねて一生懸命作ってきました。住民自治基本条例というのは、自分たちで力を合わせて町をつくるための最低限のルールを作ろうということなんです。各先生方は「合併で一緒になった場合、仕事のやり方の違いが出てきますので、合併する時こそ、住民自治基本条例を合わせて作っておけば、共通のまちづくりができる。そういうふうには考えないといけない」と言っています。議会の理解を得て、柴田町がリーダー役を果たす意味でも制定をさせていただきたい。もし合併することになれば、この条例を基盤として3町が将来の町をどうしていくか、協働のまちづくりをどうしていくか議論していかねければと思っています。

**Q** 役割などが決まり、それに従わなかった場合は罰則などあるのですか。

**A** 参加しない人に罰則というような条例ではありません。町を良くするためにはどうしたらいいか。その最低限のルールをみんなで共有していい町をつくらうということなので罰則規定はありません。

**Q** 住民投票があるが、議題にかけるタイミングが問題になってくる。議会の議決権と住民投票による議決とどちらを優先するのか。住民優先となつてくると議会軽視でし、住民の意思があるのにもかかわらず議会在反対したらどうなるというのが出てくる。どちらを優先するのか、きちんと整理しないとせつかくの条例も宙に浮いてしまうのではないか。

**A** この住民投票は、その結果が即、議決という、いわゆる拘束型のものではないと認識しています。住民投票の結果をある程度尊重するという、いわゆる尊重型であり、最終的には議会の議決に判断を委ねられるものだと思います。今回の条例も議会の議決を無視し

て優先されるということはありません。

## そのほか

**Q** 仙台大学に対して毎年大きなお金を支出しているようです。大学でも地域の貢献に力を入れていると聞きます。もう少し積極的に大学を利用するようなことをやれば、介護保険や国民健康保険など医療関係の抑制にも役立つと思います。

**A** 仙台大学への支援は、平成23年度に1千万を補助して終わりとなります。仙台大学には、サッカー場を作ったただきましたし、室内施設も作って、地域の皆さんにも利用できる配慮をしてもらいました。また、「健康づくりサポーター」という資格を認定して学生に取得させています。町内の各地区に行つて健康づくりに関わってもらおうと「地域再生計画」という国から認定を受けたものと一緒に健康づくりサポーターの育成に努めております。そのほか、プールでの健康づくりや、児童館でのボランティア活動など仙台大学が地域の中に駆け込

んで町民と一緒に動き始めたと思つています。県内で大学があるのは、仙台市、石巻市、名取市、大和町、そして柴田町しかありませんので、このような頭脳的なシンクタンクは、柴田町の今後の発展のために大いに活用していきたいと思つています。

**Q** 白幡橋を補修してほしい。

**A** 白幡橋のリフレッシュ工事を行ないます。橋梁点検をした結果、良好な状態で維持されており大丈夫ということなので、舗装や照明を改修して、歩道橋も全て塗り替えます。町民の皆さんには大変ご迷惑をかけますが、平成21年1月から6月まで片側交互通行になります。また、町内の工場建設が始まり大型車両が入ってきますので、さくら船岡大橋を迂回していただくようお願いいたします。

**Q** 区内の事業で経費がかかるとのは敬老会。集会所では狭いし、昼に座るよりも椅子が楽なので宴会場などの施設を利用している。区では、町の補助金の倍を出している。出席しなくても足が悪かったり介護が

必要だったりする人もいるので、出席しない人にも民生委員を通して赤飯などを配つてもらつた。町と区で費用を半分できないか。

**A** いろいろな敬老会に呼ばれており、バラエティーにとんだ楽しい敬老会を開催してもらっている。お金をかけないでやっている地区もあるので、できれば補助金範囲内で、工夫してやっていただきたいと思つます。

**Q** 暫定図書館について詳しく教えてほしい。

**A** 町民の中には「財政状況が厳しいので図書館などと言っている場合ではない」という意見と「文化の町、柴田町にぜひ図書館を作してほしい」という意見があります。町としては双方の意見に耳を傾けながら検討をしました。公募により「まちの図書館設置検討会」を立ち上げ、10月に同検討会から報告書の提出をいただきました。その内容は、今ある施設を使つてということの前提として検討しておりますから、生涯学習施設、公民館などが候補として挙がったわけです。最終的には、

しばたの郷土館（ふるさと文化伝承館）ということになりました。ふるさと文化伝承館1階のエントランスホールのところ、図書館を作つてはどうかという



しばたの郷土館（ふるさと文化伝承館）ということになりました。ふるさと文化伝承館1階のエントランスホールのところ、図書館を作つてはどうかという

提案でした。町としても厳しい財政状況にあることを事前に説明していたので、検討会でもそのことを認識して、大きい図書館は無理なので、図書を寄附してもらおうとか、本棚も高校の統合で余ったものをもらおうなどの検討を行いました。今後は、郷土館を利用している皆さんにご理解をいただくために、説明会を開催する予定です。

**Q** 中学校の体育館建設はどのようになっていくか。

**A** 船岡中学校の体育館は、来年度実施設計をして22年度に着工して完成させる段取りになっています。榎木中学校校舎の建て替えには約20億円がかかります。国の補助制度が変わり補助金がもらえず、借金もできないので当面建てることはできない状況です。

**Q** 11月に町長が船岡中学校で出前講座をやったが、ぜひ榎木小学校の6年生を対象にもやってほしい。

**A** 船岡中学校の特別出前講座は大変盛り上がりました。これまで、政治やまちづくり、選挙の話を直接する機会や

場がありませんでした。中学生の皆さんから激励してもらいました。ほかの学校の生徒の皆さんにも話をする機会があればと思っています。

**Q** 仙台市でもごみ袋の有料化をしているが、柴田町でも考えているのか。

**A** ごみの有料化については、まず、町民へのアンケート

調査の実施を検討しています。仙南地区のゴミ処理は現在、角田衛生センターで柴田町と大河原町を除く2市5町分を、大河原衛生センターで柴田町と大河原町の2町分を焼却処理しています。将来的には、仙南2市7町の可燃ごみの処理を一方所に集めて焼却するクリーンセンター1の整備計画があり、平成28年度の稼働を目指しております。建設には現在のごみ排出量で計算すると、総工費約140億円が見込まれており、ごみの排出量に応じた柴田町の負担金はおおよそ30億円に上ります。ごみの排出量を減らすことにより、施設の規模や負担金を抑えることが可能となります。ごみの有料化によりごみ排出量が2〜3割減った仙台市の例にならない、

クリーンセンター建設に合わせた平成23年度から「ごみ有料化」を実施する予定です。実施には周知期間が必要であり、事前にアンケート調査やキャンペーンなどを展開し理解を得てまいります。

**Q** 西住児童館を廃止して私立幼稚園に通わせるという町の考え方がある。地区では夏祭りを中心にするさつくりを継続しており、児童館の児童も参加し、児童にとつて最初の地区活動の場になっている。町では地域の将来像をみんなで描くために「まちづくり条例」を作ろうとしている。その一方でこの地区から児童館が無くなるということは、私たちが今まで進めてきた、まちづくりの基盤が無くなるということである。児童館を廃止するというのであれば、今、入館している子どもや将来入る子どもたちを町立幼稚園に通えるようにできないのか。そこまで考えて提案すべきである。「私立幼稚園に行け、補助は一年間だけやる」ということでは、地区や子どもたちのことがまったく考えられていない。すべて地元の家庭に負担を

押し付け、それで財政再建ができたというのか。

**A**

この地区に生まれた子どもたちが、皆さん西住児童館に入ることであれば、児童館に入ることであれば、学識経験者が言う好ましい最低の集団教育人数の20人はぎりぎり確保できると思います。しかし、これまでの推移を見ると児童館を希望しない方もおられることも事実としてあり、また、少子化という問題もあって人数の確保が、ますます難しくなる状況にあります。確かにふるさとづくりの基本になるといっても間違いありません。しかし、民間の幼稚園もありますので、そちらの適正な集団の中で生活することによっても子どもたちの可能性が広がると考えております。その時に家庭の負担が増えるのは問題であることから、経費が増える分については補てんをするという考え方を提案させていただきました。施設の建て替えということもありますが、児童の推移を見ますとそれも難しいことから、長年の懸案事項でもあり、また議会からの提案もあり廃止の方向で検討を開始しました。保護者の皆さんとの話し合いの中で意向を聞いたと

**Q** 緊急地震速報システムが榎木中と船岡中に設置されたが、なぜ船岡中には設置しないのか。

**A**

昭和55年に建築基準法が変わり、それ以後の建物については多少大きな地震がきても大丈夫ということになりました。町内の小中学校で昭和55年以前の建物について耐震診断を実施したところ、榎木中学校、船岡中学校の校舎、船岡中学校の体育館が耐震補強を要するという結果になりました。本来であれば建て替えや耐震工事をしなければなりません。校舎の建て替えには約20億円の費用がかかるので、今の財政では難しい状況です。そこで緊急地震速報システムを設置して、いざというときに子どもたちが身を守れるようにしました。

## 平成21年 柴田町成人式

# 変わらない友達 変わらない笑顔



1月11日、柴田町民体育館で成人式が行われました。

今年の新成人は、583人(男347人、女236人)。会場には華やかな振り袖やスーツ姿で着飾った新成人が集い、再会を喜び合いました。

旧友を見つけて手を振る人、抱き合う人、歓喜の声をあげる人などたくさん笑顔が見られました。昔と変わらない会話ができるのは、やはり地元ならではです。



未来を考えると、  
今を台無しに  
してはいけない。  
過去を悔やんで  
今も後悔しては  
いけない。  
一番大事なのは  
今を精一杯  
生きること。

どんな困難にも  
臆することなく  
立ち向かい、  
たくさん失敗や  
成功を経験して  
勇気や強さを  
身に付け、  
筋の通った  
人物になりたい。



佐藤翔太さん



高橋あみさん





「もっと知識を増やして  
研究者になりたい。」

水戸裕也さん



「たくさんの人に支えてもらった。  
今日からは支える側になりたい。」

大沼 崇さん



祝  
成人式典会場  
柴田町

「何事も自分らしく頑張っていきたい。」



相馬 由利香さん

「環境問題の活動に携わっていきたい。」



加茂弘大さん

「教師という夢に向かって頑張っていく。」



馬場ひとみさん

白幡橋のリフレッシュ工事が始まりました。長年の懸案事項だっただけにホッとしてるところです。

白幡橋が架けられたのは昭和13年ですからすでに70年が経過しています。戦時中、高欄の鉄筋が軍に供出されて以来、60年以上もの間痛々しい姿をさらしてきましたが、今回、コンクリートの高欄が鋼製の欄干に取り替えられ、痛んだ舗装も防水処理を行った後で打ち直すことになりましたので、安心して通行できるようにになります。合わせて照明灯の交換や歩道橋の高欄の塗装も行われますので、見た目も安心感が増すと思います。本来であれば架け替えなければならぬのですが、耐震診断を行った結果、過去に補修補強工事を行ったこともあり、橋脚部分はおおむね大丈夫という結論でした。一方、昭和57年に架けられた柴田大橋は耐震構造になっていないため、今後2〜3年かけて、補強工事をするそうです。なぜ、こうも違う

## 白幡橋のリフレッシュ

のか専門家に聞いたところ、昔の技術者は川を良く知り尽くしており、いわゆる職人の経験則と技で造られているため意外と丈夫なのだそうです。今は、コンピューターで構造計算がなされているため、精緻ではありませんが、想定外の事態には、案外脆いのだそうです。コンピューターに頼りすぎて、職人の知恵や経験則が軽視されてしまったことが結果として表れたのかも知れません。人間も同じです。戦争という悲惨な経験を積んで、生き抜いてきた年代の方が元気で、環境も栄養状態もいい今の若い人の方が案外ひ弱なのは、困難を乗り越えて生きぬく経験則に差があるからなのかも知れません。年齢70歳、まだまだ現役として活躍してもらわなければならぬ白幡橋ですが、い

ずれば、架け替えなければならぬ時がやって来ます。白幡橋架け替え整備期成同盟会の会長として、早速に架け替えルートの調査に着手するよう国や県に働きかけてまいります。当面、白幡橋には老体に鞭打って頑張ってもらうことになりそうです。頑張れ白幡橋。

いばた食育だより  
はぐくみ  
第6号  
食育とは

赤ちゃんは、生まれるとすぐに母親のおっぱいを飲んで成長します。

離乳食が始まった時に、塩分を加えた離乳食をあげると味の濃いものを好み、甘いものを加えると甘いものをより好むようになると言われています。

これは、赤ちゃんは腎臓の機能が未熟なために味覚が敏感で、薄い味にも反応するためとも言われています。

赤ちゃんは、どんなものでも受け入れる能力と、何でも口へ持つていって味わって学習して覚えるという2つの能力があるそうです。

「食べる」とは単にお腹をいっぱいにするだけでなく、「楽しい雰囲気でお腹をいっぱいにするだけなく」「楽しい雰囲気でお腹をいっぱいにするだけなく」「一緒に食べる人につくる楽しさ」、さらに「規則正しい生活」「適度の運動」「楽しい食事の雰囲気」が必要不可欠であり子どもの生涯の発達過程で「食育」に関わることが、「正しい食習慣」を身に付けることのできる実践ではないかと言われています。

子どもは、幼児期に与えられた食事によって個人個人の味覚の好みができるとも言われています。このことから初めて体験した味付けが個人の味覚として、一生を左右するようになるということは親として子どもへの「食育」が最も重要になってくるということの意味しているのではないのでしょうか。

町の食育推進計画である「食を楽しみおいしくいただく」をキャッチフレーズに郷土食や食文化を子どもたちに継承しながら、乳幼児期の各種健診などにおいても「食育」に関わってきました。しかし、朝食の欠食や偏食、弧食などはまだまだ見受けられるのが実情です。「食べることは学ぶこと」だと言われています。

乳幼児期からさまざまな経験を通じ、食に関する知識と選択する力を習得し健全な食生活を実践することができる人間を育てることが「食育」であり、健康な生活を送る基本である食を営む力を育み、長い年月をかけて正しい食習慣を身に付ける力を育むことも「食育」なのです。

乳幼児期から「食育」に触れることで、「食べる」ことを見直し「豊かな食」によって健康な生活を送ることができるようになり、町全体が「輝くまち」になるように日々努力しております。

これを機会に、「あなたにとって食育とは？」を、一緒に考えてみましょう。



## 男女共同参画都市宣言10周年

## 男女共同参画フォーラム in しばた 2009

町では、輝くしばた男女共同ネットワークと一緒に男女共同参画フォーラムを実施し、皆さんに意識啓発を呼び掛けてきました。

女性と男性がお互いの立場を尊重し認め合い、喜びも責任も分かち合える社会の実現を目指して男女共同参画都市宣言10周年の節目を迎え、さらなる飛躍の年にしたいと願っています。

今年のテーマは「家族の絆」を演題にしました。皆さんが暮らしやすい社会づくりへ向けて進めていくために、家族間の問題、家族施策について研究を重ねている下夷氏の講演をぜひ聞いてください。子どもたちの標語、イラストもぜひ見ていただきたいと思います。

- オープニング
  - 奥州柴田一番太鼓
  - 小・中学生から募集した標語イラスト入賞作品の表彰

■ 講演 「家族の絆  
—時代にみる新しいかたち—」



しもえびす みゆき  
講師：下夷美幸氏  
(東北大学大学院文学研究科准教授)

略歴：鹿児島県生まれ。お茶の水女子大学大学院修士課程家政学研究科修了。日本女子大学助教授、法政大学助教授などを経て、2007年4月より現職。専門は、家族社会学、福祉社会学。現在は、「ひとり親家族の子どもの扶養をめぐる親と国家の関係」をテーマに、子どもの福祉は誰がどのように守るのか、という課題に取り組んでいる。

3月7日(土)

13:30~16:00

入場無料

託児あり(2/27まで要予約、無料)、  
手話、要約筆記あり

榎木生涯学習センター

問 まちづくり推進課 ☎55-2278

# まちかど NEWS



青空の下、堂々と行進

## 災害に備え心一つに

NEWS

新春の冒頭を飾る恒例の合同出初式が1月4日、消防団、交通指導隊、n防犯実動隊、婦人防火クラブ連合会から約500人が参加して盛大に行われました。消防車両29台を伴った分列行進では、ラッパ隊の吹奏にあわて堂々と行進し、沿道の皆さんに勇姿を披露しました。その後、服装や車両点検、放水訓練などが行われ、日ごろの訓練の成果を発揮するとともに、志気を高め合いました。

今年は色を付けた水を放水しました

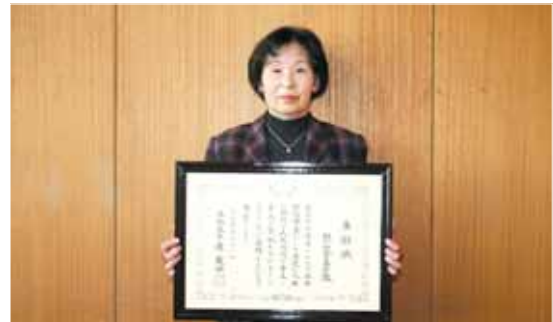


## 子ども棋士の白熱した対局

NEWS

日本の伝統文化の一つである将棋の楽しさを知ってもらおうと「子ども将棋教室」が槻木生涯学習センターで開催され、小学生13人が参加しました。「将棋が好きなので来ました。将棋もっと上手になりたいです」と話してくれたのは、小学1年生の男の子。子どものテレビゲームやカードゲームが分からない保護者の皆さん、将棋で親子のコミュニケーションを深めてみてはいかがでしょうか。

大人もびつくりする  
素晴らしい勝負がたくさん



人権擁護委員は  
地域の身近なパートナー

## 人権擁護活動で表彰

NEWS

長年にわたって人権擁護活動に力を尽くされた功績により人権擁護委員の郡山登美子さんが、法務大臣より表彰されました。郡山さんは、平成9年から多くの人権相談に応じ、人権問題が起きない社会づくりを目指した啓発活動に積極的に取り組んできました。長年の相談活動を通して「さまざまな方の相談に耳を傾けてきて、自分自身が育ててもらったと思っています」と話してくれました。

## 観客を魅了する学生の情熱

NEWS

仙台大学レクリエーション部によるイベント「FLOWER」が12月21日、槻木生涯学習センターで開催されました。このイベントは地域との交流を目的に学生が企画・運営しており今年で10回目。歌やダンスだけではなく体育大学ならではの体を使ったパフォーマンスなども見せてくれました。最後は、感極まり涙を流しながら歌うその姿に会場からは拍手が止まりませんでした。



ステージと客席が一体となりました



びいかぶうとは英語で「いいいいいいあー」

## 読書運動の推進に尽くす

NEWS

「おはなしの会びいかぶう（代表小塩直枝）」が社団法人読書推進運動協議会より第41回優良読書グループとして表彰されました。今年で活動15年目を迎えるびいかぶうは、公民館でのおはなし会のほか、絵本の読み聞かせや紙芝居、わらべ歌など幅広い活動をしてきました。これからも赤ちゃんや子どもたち、そしてお年寄りまでたくさんの人に本を読むことの喜びや楽しさを伝えてください。

## 献血事業で表彰

NEWS

10年以上にわたり組織的に献血に協力し特に優秀と認められた昭和電線ケーブルシステム（株）仙台事業所が、「第12回献血者に感謝する集い」で厚生労働大臣感謝状を伝達されました。昭和電線ケーブルシステム（株）仙台事業所では、昭和51年より献血事業に協力。献血活動の意義の理解・普及を図り、献血への参加を呼び掛け昭和57年からは年2回献血に協力してきました。



第12回 献血者に感謝する集い  
献血の推進に関してほかの模範となりました



町長、利用者、指定管理者がテープカットを行いました

## しらすぎが生まれ変わりました

NEWS

障害者自立支援法の施行により、これまでのしらすぎ共同作業所が新しく「柴田町地域活動支援センターしらすぎ」として活動することになり、その開所式が1月6日に行われました。建物も多目的ルームや作業所など明るく広々としたスペースに増改築をしました。このセンターでは障害を持つている方が生産活動などを通して自立した生活を地域においてできるよう支援していきます。

# すばらしい仲間たち

## 15歳以下の日本一決定戦に フレスカ 柴田町のFC. FRESCAが出場



昨年開催された高円宮杯(12月7日、29日)に、ベガルタ仙台ジュニアユースなどのJクラブチームを抑え、東北第一代表として出場しました。

FCフレスカは、平成3年、スポーツ少年団「槻木FC」のOBや親の会が「槻木ジュニアユース」として設立。平成7年にフランス語で「新鮮」を意味する現在の「FRESCA」にチーム名を変更しました。

主な練習場所は、阿武隈川河川敷グラウンドで、夏は草刈りなどのグラウンド整備に協力しながら練習を重ねてきました。町内をはじめ、仙南地域の中学生33人が所属し、地域のスポーツクラブとし活動しています。

サッカー協会はひとつなので選手登録できるのもひとつのチームだけです。フレスカに所属する生

徒は中学校のサッカー部に入部して一緒に練習することはできませんが、中学校の試合に出場することができます。

さて、大会は全国から地方予選を勝ち抜いた32チームが出場。清水エスパルスやガンバ大阪など多くの部員を抱えるJ1のユースチームも名を揃えています。FCフレスカは、1次ラウンドを1勝2引き分けとし決勝トーナメント(ベスト16)に進出しました。

ベスト8進出をかけた試合は、この大会に過去6回出場している名古屋グランパス。結果は0-2で惜しくも負けてしまいました。が、全力を出し切った選手たちにとって、実りのある大会になったのではないのでしょうか。

これからも、Jリーガーや日本代表、さらに海外トップリーグでの活躍を目指して頑張ってください。

### こうほう 文芸

#### 俳句

着ぶくれて男盛りは追憶に  
相馬カツオ

入学の吾子に重そうランドセル  
藤原 幸子

グラウンドゴルフ愉し河原の浅き春  
大泉 恵子

母の日や形見を着てる齢となり  
相馬クニ子

老の身を気儘にさせて居し炬燵  
佐久間庭鶯

#### 川柳

オンブズマン不正行為を洗い出し 四日市場 曳地 真翔

タイムカプセル大きな夢を埋めておく 上名生 西村 久子

松の内訃報心に氷雨降る 船岡 坪内 良

八十年歳王の山に育てられ 船岡 萩原 善助

喜寿迫る笑顔続くか年金よ 船岡 幕田 昇

迎春へ心の扉開けて待ち 船岡 島貫よし雄

初参り開運おみくじ一人笑む 船岡 鈴木 智子

女心小さな火種埋めておく 船岡 小野せつ子

#### 短歌

日の国よ戻れ心の清したれ 船岡 大槻 信吉

春あらたかに正をなすべし 船岡 大槻 信吉

あたらしき真白きレースのカーテンに 船岡 沢田 順子

初春の光ほのぼの映えて 船岡 沢田 順子

冬の畑に黒土盛られて静かなり 船岡 柄目けい子

シヨベルカー一機しばしの休息 船岡 柄目けい子

日溜りの枯野に生えし露のとう 船岡 柄目けい子

七草粥に春の香そえる 西船迫 小川 伸子



# 夢空間 2009



佐々木裕希さん



だいすけ (ペンネーム)

smile kids



佐々木萌笑 ちゃん(4歳)  
(四日市場)

### ひとこと

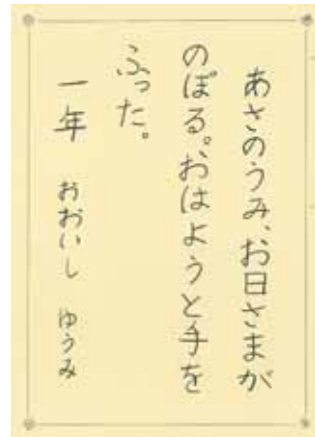
これからも元気いっぱい★愛犬「だいず」とたくさん遊んでね。

(父：祐輔さん  
母：真美さん)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

## こども美術館



船岡小学校 1年

大石 優美 さん



「夕焼けのなかの風景」

東船岡小学校 6年

澤井 佳菜 さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2009)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、ハガキ、手紙などで3月13日(金)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり推進課 ☎55-2278

# 広報 しばた に掲載する 有料広告募集

広報しばたは 4月から毎月発行に戻ります

平成21年4月からの「広報しばた」に掲載する広告を募集します。

お店や企業のPRなど暮らしに役立つ広告をお待ちしています。

問 まちづくり推進課 ☎ 55-2278

**発行日・発行部数**  
毎月1日発行 14,450部

**配布先**  
町内全世帯および各公共施設  
町内外の関係団体

**広告の規格**  
1 枠 縦45ミリメートル  
横86ミリメートル

**広告掲載料**  
10,000円/1回(1枠)

**募集枠数**  
広報紙1回につき8枠(広報紙1回につき1者あたり2枠まで)

**掲載基準**  
「町民に不利益を与えないもの、中立性」などを考慮します。詳しくは、広報しばた広告掲載取扱要綱をご覧ください。

**申込方法**  
所定の申込書に原稿および納税状況確認同意書(または納税証明書を添付してお申し込みください。申込書などは町ホームページよりダウンロードできます。

**申込期限**  
平成21年2月20日(金)



人口と  
世帯数



38,904 人  
(前月比 67 人減)



19,439 人  
(前月比 50 人減)



19,465 人  
(前月比 17 人減)



14,485 世帯 (平成21年1月1日現在)  
(前月比 18 世帯減)